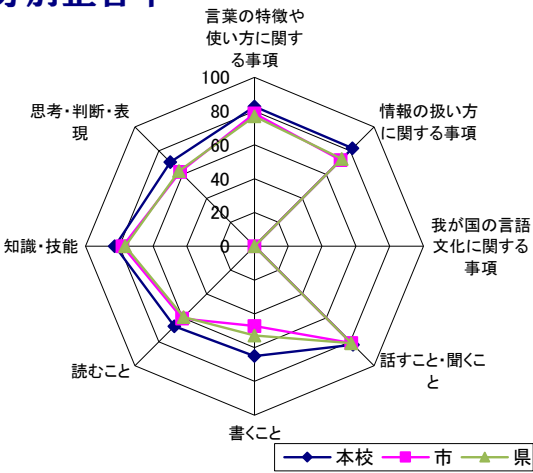


宇都宮市立桜小学校 第4学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	言葉の特徴や使いに関する事項	82.7	78.6	76.9
	情報の扱いに関する事項	82.0	72.2	73.1
	我が国の言語文化に関する事項	0.0	0.0	0.0
	話すこと・聞くこと	82.5	81.0	81.1
	書くこと	65.0	47.2	52.8
	読むこと	67.0	60.5	59.3
観点	知識・技能	82.6	78.0	76.5
	思考・判断・表現	70.4	62.3	63.1



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使いに関する事項	平均正答率は、市や県の平均より高い。 ○漢字の読み(3問)については、平均を上回った。 ●漢字の書きについては、課題が見られるものもあった。	・漢字の読み書きについては、今後宿題等で繰り返し練習し、定着を図るよう指導していく。 ・漢字の書きの力を定着させるために、クロームブックを活用した学習を通して漢字を書く力の向上を図る。
情報の扱いに関する事項	平均正答率は、市や県の平均より高い。 ○国語辞典の使い方の理解を問う問題では、市の平均正答率を9.8ポイント、県の平均正答率を8.9ポイント上回った。	・今後も単元の漢字の学習や意味調べなどで、辞書を引くことを習慣化できるよう、意図的・計画的に指導していく。
話すこと・聞くこと	平均正答率は市や県の平均より高い。 ○相手に伝わるように自分の考えを理由を挙げながらまとめる問題では、市の平均正答率を3.2ポイント、県の平均正答率を2ポイント上回った。 ●司会者の話し方の工夫をとらえる問題では市の平均正答率を1.1ポイント、県の平均正答率を0.5ポイント下回った。	・話し方の工夫など、大事なことを正確に聞き取ることができるようするために、メモを取りながら聞くような学習活動を意図的に設定していく。
書くこと	平均正答率は市や県の平均より高い。 ○段落の役割について理解し、2段落構成で文章を書く問題では、市の平均正答率を14.4ポイント、県の平均正答率を8.3ポイント上回った。	・今後も、日記のような自由に書く文章に加え、条件付きのテーマ作文を実施し、書く力の向上を図る。
読むこと	平均正答率は市や県の平均より高い。 ○●叙述を基に文章の内容を捉える問題では、市の平均正答率を、0.1ポイント下回ったが、県の平均正答率を0.7ポイント上回った。	・物語の読み取りでは、登場人物の気持ちや、場面の様子を表す言葉に注目しながら、場面の様子を捉え、読みを深めることができるよう指導していく。